

事 務 事 業 評 価 シ ー ト

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	水沢分湯槽改良工事				
担 当 課 係 名	企業局 工 務 課	工 務 係	作成者	田中 司	
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	歴史と自然が織り成す交流処点のまち			総合計画の ページ 29
	基本計画	観光誘客体制の整備と観光資源の掘り起こし			
	主要施策	温泉供給事業の充実			
予 算 費 目	温泉事業 会計	1 款 温泉資本的支出	1 項 建設改良	1 目 改良工事費	
事 業 期 間	平成 19 年度 ~ 平成 年度		新規／継続の区分		継続
性 質 区 分	☐ 市民サービス ☐ 公共事業 ☒ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理				
根 拠 法 令 等					
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				
運 営 方 法	☐ 直 営 ☒ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助				

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	水沢温泉郷の各供給者対象
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	施設の老朽化に伴い分湯槽の改築工事を実施。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	1) 第1分湯槽改築 木造1階建て(建築面積 7.56㎡ 1棟) 2) 第2分湯槽改築 木造1階建て(建築面積13.11㎡ 1棟) 3) 第3分湯槽改築 木造1階建て(建築面積14.06㎡ 1棟)

【事務事業の推移】

(単位：千円)

	項 目		単位	18年度実績	19年度実績	年度実績	
効果	活動指標	1日当たりの供給量	Kℓ		513		
	成果指標	年間の供給量	Kℓ		187,245		
投下コスト	項 目		総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額	
	事業費（人件費を除く）(A)				7,130		
	財源内訳	国 庫 支 出 金					
		県 支 出 金					
		地 方 債					
		そ の 他					
		一 般 財 源			7,130		
		人 件 費 (B)		—		8,071	
	職 員 数		—		1.0		
	職 員 平 均 人 件 費		—		8,071		
	(A) + (B) 投下コスト		—		15,201		
	単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—		29,632	
				—			
市民1人当たりのコスト(円)		—		484			

【事務事業の今までの成果】

施設の老朽化に伴い分湯槽の改築工事を実施し、温泉供給者各位が快適な生活をしている。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性		判 定 に 至 っ た 理 由
A	A	現状のまま継続（実施）	各分湯槽（ブロック建築）の老朽化が激しく危険度も高く改築の必要性が十分に認められる。また、これからは老朽化した温泉管路の布設替えも必要になってきており、A判定と判断した。
	B	見直しの上で継続（実施）	
	C	大幅な見直しの上で継続（実施）	
	D	休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
A	温泉の安定的な供給のため必要な事業と考える。

一次評価診断図

